

殺虫剤

## ISKテルスター水和剤



殺虫剤分類

3A

農林水産省登録	第23431号
有効成分	ピフェントリン・・・・・・・・・・ 2.0%
性状	類白色水和性粉末 45 $\mu$ m 以下
人畜毒性	普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）
有効年限	5年
包装	(100g $\times$ 10袋) $\times$ 6函 500g $\times$ 20袋

## 特長

✓ 幅広い殺虫スペクトラム  
 チョウ目害虫、アブラムシ類、カメムシ類、ヨコバイ類などのカメムシ目害虫、アザミウマ類など多くの害虫にすぐれた効果があります。

✓ 速効的な殺虫効果  
 速効性にすぐれ、散布直後から強い殺虫効果を示します。また、効果の持続性が長く、少ない散布回数で高い防除効果が得られます。

✓ ハダニ類にも有効  
 ハダニ類にも高い活性を示し、リサージェンス（異常増殖）が起こりにくいピレスロイド剤です。

✓ 汎用性のある殺虫剤  
 適用作物幅が広く、汎用性のある殺虫剤です。

# 適用作物と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピフェントリンを含む農薬の総使用回数		
かんきつ	ミカンハモグリガ チャノキイロアザミウマ カメムシ類	1000~2000倍	200~700ℓ	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内		
	アブラムシ類 ワタミヒゲナガ ゾウムシ								
りんご	モモシンクイガ キンモンホソガ ギンモンハモグリガ ハマキムシ類 アブラムシ類 リンゴハダニ ナミハダニ	1000倍			1回			1回	
	なし	シンクイムシ類 ハマキムシ類 ナシチビガ アブラムシ類 ハダニ類			1000~2000倍			2回以内	2回以内
カメムシ類									
もも	モモハモグリガ アブラムシ類 カメムシ類	1000倍			1回			2回以内 (散布は1回以内、くん煙は1回以内)	
ぶどう	チャノキイロアザミウマ								
かき	カメムシ類 チャノキイロアザミウマ	1000~2000倍			1000倍			2回以内	2回以内
	カキクダアザミウマ ハダニ類 カキノヒメヨコバイ								
びわ	アブラムシ類 オオタバコガ カメムシ類	1000~2000倍			1000倍			収穫前日まで	1回
あけび (果実)	アブラムシ類	1000倍	収穫7日前まで						
ハスカップ			収穫21日前まで						
ばれいしょ		1000~1500倍	100~300ℓ	収穫3日前まで	4回以内	4回以内			
あずき	アズキノメイガ	1500倍		収穫7日前まで	2回以内	2回以内			
きゅうり	アブラムシ類 オンシツコナジラミ	1000倍	150~300ℓ	収穫前日まで	3回以内	3回以内			
すいか	アブラムシ類 ハダニ類				4回以内	4回以内			
メロン	アブラムシ類 ハダニ類 タバココナジラミ類 (シルバーリーフコナジラミを含む)								
	なす				アブラムシ類 オンシツコナジラミ ハダニ類	3回以内	3回以内		
キャベツ	コナガ アオムシ				1000~1500倍		収穫21日前まで	4回以内	4回以内

はくさい	ヨトウムシ アブラムシ類					
ねぎ	シロイチモジヨ トウ	1000倍		収穫7日前まで	2回以内	2回以内
だいこん	アブラムシ類	1000~1500倍		収穫21日前まで		
てんさい	ヨトウムシ	250倍	25ℓ	収穫7日前まで	4回以内	4回以内
	カメノコハムシ	1000~1500倍				
だいず	アブラムシ類	1000倍	100~300ℓ	収穫3日前まで	3回以内	3回以内
いんげんまめ	アブラムシ類 インゲンマメゾ ウムシ					
パセリ	アブラムシ類					
茶	チャノコカクモ ンハマキ チャハマキ チャノホソガ チャノミドリヒ メヨコバイ チャノキイロア ザミウマ カンザウハダニ ヨモギエダシャ ク	1000倍	200~400ℓ	摘採14日前まで	2回以内	2回以内
	ホップ	アズキノメイガ ハダニ類 アサトビハムシ	200~700ℓ	収穫30日前まで		
たばこ	ヨトウムシ アブラムシ類 オンシツコナジ ラミ	1500倍	25~180ℓ	収穫10日前まで		
芝	スジキリヨトウ シバツトガ		300ml/m <sup>2</sup>	発生初期	3回以内	3回以内
ばら きく カーネーション	ハダニ類	1000倍	150~300ℓ	—		
樹木類	ケムシ類		200~700ℓ	発生初期	6回以内	6回以内

※本内容は2018年3月28日付の登録内容に基づいています。

## 効果・薬害等の注意事項

---

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- てんさいに対して希釈倍数250倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用してください。
- ばら、きく、カーネーションに使用する場合、収穫間際の散布は葉や花に汚れを生じる場合があるのでさけてください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節してください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

## 安全使用上の注意事項



- 取扱いに十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤による中毒の治療法としては、動物実験で筋弛緩薬（メトカルバモール製剤等）の投与が有効であると報告されています。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中および散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、桑に付着するおそれのある場所では使用をさけてください。本剤の散布の際に着用していた衣服は養蚕作業に用いるものと区別してください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
  - ・ ミツバチの巣箱およびその周辺にかからないようにしてください。
  - ・ 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用しないでください。
  - ・ 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。

### 魚毒性等

水産動植物（魚類・甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意してください。散布器具・容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

### 保管

密封し、直射日光をさけ、食品と区別して冷涼・乾燥した所に保管してください。